

# 決算補足説明資料 2017年度 決算

2018年5月9日

田辺三菱製薬株式会社

証券コード:4508



田辺三菱製薬

本資料に関するお問い合わせ

広報部 TEL 06-6205-5211

FAX 06-6205-5105

## 目次

<b>1</b>	<b>2017年度 決算の概要</b>	
	1. 2017年度 業績サマリー 2. 2018年度 業績予想サマリー 3. 配当金	..... 2
<b>2</b>	<b>2017年度 連結決算について</b>	
	1. 損益状況	..... 3
	① 損益実績	..... 3
	② 主要製品売上収益	..... 4
	2. 財務状況	..... 5
	① 資産・負債・資本の状況	..... 5
	② キャッシュ・フロー計算書	..... 6
	③ 設備投資／情報システム開発投資 ④ 減価償却費および償却費	..... 7
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数	..... 7
<b>3</b>	<b>2018年度 業績予想について</b>	
	① 損益予想	..... 8
	② 主要製品売上収益予想	..... 9
	③ 設備投資／情報システム開発投資予想 ④ 減価償却費および償却費予想	..... 10
<b>4</b>	<b>5ヵ年連結財務数値</b>	
	日本基準 ① 損益計算書 ② 貸借対照表 ③ その他財務数値	..... 11
	IFRS ① 損益計算書 ② 財政状態計算書 ③ その他財務数値 ④ 従業員数	..... 12
<b>5</b>	<b>四半期業績の推移</b>	
	① 損益計算書	..... 13
	② 主要製品売上収益	..... 14
<b>6</b>	<b>新製品開発状況について(2018年4月30日現在)</b>	
	① 自己免疫疾患 ② 糖尿病・腎疾患	..... 15
	③ 中枢神経系疾患 ④ ワクチン	..... 16
	⑤ その他疾患	..... 17
	2017年度第3四半期決算発表(2018年2月5日)からの変更点	..... 18
<b>7</b>	<b>その他</b>	
	1. 関係会社	..... 19
	① 関係会社数 ② 連結子会社一覧 ③ 関連会社およびジョイントベンチャー一覧	..... 19
	2. 株式の状況	..... 20
	① 発行済株式数 ② 大株主の状況 ③ 所有者別株式分布状況(単元株)	
	④ 配当金／株価推移	..... 20
	<b>参考</b>	
	主要医療用医薬品の解説／ニュースリリース	..... 21

# 1 2017年度 決算の概要

(億円未満切り捨て)

## 1. 2017年度 業績サマリー

売上収益	4,338 億円	前期比	98 億円	2.3 %
○国内	3,208 億円	前期比	5 億円	0.2 %
○海外	1,129 億円	前期比	93 億円	9.0 %

売上収益は、前期比+2.3%、98億円増収の4,338億円となりました。

国内医療用医薬品は、関節リウマチなどの治療剤「シンボニー」、2型糖尿病治療剤「テネリア」、同「カナグル」等の重点品の売上が伸長したものの、ワクチンや長期収載品の減収に加え、2017年10月のジェネリック医薬品事業の譲渡などにより、前期比1.5%減収の3,093億円となりました。

海外医療用医薬品は、2017年8月に米国で発売したALS治療剤「ラジカヴァ」が大きく寄与し、前期比70.0%増収の385億円となりました。

ロイヤリティ収入等は、ノバルティスに導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」に係るロイヤリティ収入は伸長しましたが、ヤンセンファーマシューティカルズに導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」および同剤とメホルミンの配合剤に係るロイヤリティ収入は減少し、前期比3.8%減収の791億円となりました。

コア営業利益(注)	785 億円	前期比	△ 159 億円	△ 16.9 %
-----------	--------	-----	----------	----------

コア営業利益は、前期比△16.9%、159億円減益の785億円となりました。

国内重点品の伸長や米国での「ラジカヴァ」の発売が寄与したものの、長期収載品やロイヤリティ収入の減収の影響に加え、後期開発へのステージアップやニューロダームの買収などにより研究開発費を大幅に増加させた結果、減益となりました。

営業利益	772 億円	前期比	△ 167 億円	△ 17.9 %
------	--------	-----	----------	----------

営業利益は、前期比△17.9%、167億円減益の772億円となりました。

非経常項目においても、減損損失や構造改革費用等の費用が事業譲渡益や固定資産売却益等の収益を上回りました。

税引前利益	787 億円	前期比	△ 172 億円	△ 18.0 %
親会社の所有者に 帰属する当期利益	579 億円	前期比	△ 133 億円	△ 18.7 %

(注)当社グループは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す段階利益として「コア営業利益」を導入し、経営管理等の重要指標と位置付けております。「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益(以下、非経常項目)を除外したものです。非経常項目として、事業譲渡による損益、構造改革費用、製品に係る無形資産の減損損失等を想定しております。

## 2. 2018年度 業績予想サマリー

売上収益	4,350 億円	前期比	11 億円	0.3 %
コア営業利益	700 億円	前期比	△ 85 億円	△ 10.9 %
営業利益	670 億円	前期比	△ 102 億円	△ 13.3 %
税引前利益	675 億円	前期比	△ 112 億円	△ 14.3 %
親会社の所有者に 帰属する当期利益	470 億円	前期比	△ 109 億円	△ 18.9 %

## 3. 配当金

	2018年度(予想)			2017年度		
	上期末	期末	年間	上期末	期末	年間
1株当たり配当金(円)	28	28	56	38	28	66
(うち、記念配当金)	-	-	-	(10)	-	(10)
配当性向	-	-	66.8%	-	-	63.9%

当社は、2017年10月1日に発足10周年を迎えました。これを記念し、2017年度中間配当時に記念配当を実施いたしました。

## 2 2017年度 連結決算について

(億円未満切り捨て)

### 1. 損益状況

#### ① 損益実績

(単位:億円)

	2017年度	前期比較			予想比較			主なポイント (前期比較)
		2016年度	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%	
売上収益	4,338	4,239	98	2.3	4,330	8	0.2	P4「② 主要製品売上収益」参照
国内	3,208	3,203	5	0.2	3,246	△ 37	△ 1.2	
海外	1,129	1,036	93	9.0	1,083	46	4.3	
海外売上比率	26.0%	24.4%			25.0%			
売上原価	1,697	1,643	53	3.3	1,695	2	0.1	シンボニーの増収等、製品構成の変化による売上原価率上昇
売上原価率	39.1%	38.8%			39.1%			
売上総利益	2,641	2,595	45	1.7	2,635	6	0.2	
販管費	1,040	983	57	5.9	1,040	0	0.1	米国事業関連費用の増加など
販管費比率	24.0%	23.2%			24.0%			
研究開発費	790	647	143	22.1	765	25	3.4	後期開発ステージへの進展、ニューロダームの子会社化に伴う増加など
研究開発費比率	18.2%	15.3%			17.7%			
製品に係る無形資産償却費	24	15	9	60.4	25	△ 0	△ 2.0	
その他損益(注2)	0	△ 4	4	-	△ 5	5	-	
コア営業利益	785	945	△ 159	△ 16.9	800	△ 14	△ 1.8	
非経常項目(注2)	△ 12	△ 4	△ 8	-	10	△ 22	-	ジェネリック事業の譲渡益、減損損失、パイファの事業終息等の構造改革費用などが発生
営業利益	772	940	△ 167	△ 17.9	810	△ 37	△ 4.6	
金融収益	18	22	△ 3	△ 15.0				
受取利息・受取配当金	12	18	△ 6	△ 33.5				
為替差益	0	2	△ 1	△ 80.8				
その他	6	1	4	313.7				
金融費用	4	2	1	70.3				
支払利息	1	1	△ 0	△ 3.9				
その他	2	0	1	314.5				
税引前利益	787	960	△ 172	△ 18.0	820	△ 32	△ 3.9	
法人所得税	247	271	△ 23	△ 8.7				
当期利益	539	689	△ 149	△ 21.7				
親会社の所有者に帰属する当期利益	579	712	△ 133	△ 18.7	635	△ 55	△ 8.7	
総人件費	727	727	0	0.1	732	△ 4	△ 0.6	

(注1) 2017年10月24日に公表した2017年度業績予想数値

(注2) 費用・損失の場合に△表示しております。

(単位:円)

為替レート	2017年度 平均レート	2016年度 平均レート	2017年度 計画レート
米ドル	110.70	108.72	110.00
ユーロ	130.25	118.68	115.00

## ② 主要製品売上収益

(単位:億円)

	2017年度	前期比較			予想比較		
		2016年度	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	3,093	3,142	△ 48	△ 1.5	3,154	△ 60	△ 1.9
レミケード	646	668	△ 21	△ 3.2	647	△ 0	△ 0.0
シンボニー	321	249	72	29.0	303	17	5.9
テネリア	175	165	9	5.8	191	△ 15	△ 8.3
タリオン	169	189	△ 20	△ 10.7	208	△ 38	△ 18.6
レクサプロ	127	112	14	13.2	129	△ 1	△ 1.2
セレジスト	108	123	△ 14	△ 11.7	108	0	0.0
メインテート	103	118	△ 14	△ 12.6	102	1	1.1
クレメジン	65	75	△ 9	△ 13.2	66	△ 0	△ 1.4
ラジカット	58	58	△ 0	△ 1.0	62	△ 4	△ 6.6
カナグル	56	34	21	60.8	69	△ 13	△ 19.2
デパス	53	61	△ 7	△ 12.6	48	5	11.5
ウルソ	52	61	△ 8	△ 14.4	50	1	3.3
イムセラ	47	49	△ 1	△ 3.5	51	△ 3	△ 7.3
ワクチン	350	389	△ 38	△ 10.0	361	△ 10	△ 2.8
インフルエンザ	99	127	△ 28	△ 22.2	100	△ 0	△ 0.9
テトラビック	87	99	△ 11	△ 12.0	92	△ 4	△ 4.9
水痘ワクチン	52	54	△ 1	△ 3.2	57	△ 4	△ 8.2
ジェービックV	52	39	12	30.4	49	2	4.8
ミールビック	50	59	△ 8	△ 15.0	52	△ 2	△ 4.9
田辺製薬販売取扱品(注2)	66	141	△ 75	△ 53.1	66	-	-
海外医療用医薬品	385	226	158	70.0	324	60	18.7
ラジカヴァ	123	-	123	-	72	51	71.1
ヘルベッサー	65	60	4	7.6	68	△ 3	△ 5.3
アルガトロバン	20	19	0	4.8	19	1	8.0
シンボニー	18	14	3	26.3	16	2	13.6
タナトリル	17	16	0	2.7	15	1	9.3
ロイヤリティ収入等	791	822	△ 30	△ 3.8	802	△ 11	△ 1.4
ジレニア ロイヤリティ	577	537	39	7.4	非開示	-	-
インヴォオカナ ロイヤリティ	139	188	△ 48	△ 25.8	非開示	-	-
一般用医薬品	37	34	3	9.3	41	△ 4	△ 11.0
その他(注3)	30	14	16	113.9	5	24	407.7
売上収益合計	4,338	4,239	98	2.3	4,330	8	0.2

(注1) 2017年10月24日に公表した2017年度業績予想数値

(注2) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。なお、当社は2017年10月1日付で田辺製薬販売の全株式をニプロに譲渡いたしました。

(注3) 他社製品の製造受託品等

## 2. 財務状況

### ① 資産・負債・資本の状況

(単位: 億円)

	2017年度末	構成比%	2016年度末	増減額	主なポイント
<b>資産</b>	<b>10,476</b>	<b>100.0</b>	9,845	630	
<b>非流動資産</b>	<b>4,620</b>	<b>44.1</b>	3,007	1,613	
有形固定資産	804	7.7	858	△ 53	設備投資+44億円、減価償却△75億円など
のれん	903	8.6	803	99	ニューロゲーム取得に伴う増加など
無形資産	2,009	19.2	612	1,397	ニューロゲーム取得に伴う増加など
持分法で会計処理 されている投資	164	1.6	2	162	BIKEN株式取得による増加など
その他の金融資産	461	4.4	516	△ 55	
退職給付に係る資産	227	2.2	147	79	年金資産時価評価による増加など
その他の非流動資産	3	0.0	4	△ 1	
繰延税金資産	47	0.5	62	△ 15	
<b>流動資産</b>	<b>5,855</b>	<b>55.9</b>	6,837	△ 982	
棚卸資産	819	7.8	791	28	
営業債権(注1) (営業債権回転月数)	1,235 (3.42)	11.8	1,168 (3.31)	66	
その他の金融資産	2,467	23.6	3,542	△ 1,075	現金及び現金同等物への振替による減少 など
その他の流動資産	62	0.6	91	△ 29	
現金及び現金同等物	1,270	12.1	1,132	138	P6「② キャッシュ・フロー計算書」参照
売却目的で保有する資産	-	-	110	△ 110	
<b>負債</b>	<b>1,527</b>	<b>14.6</b>	1,131	396	
<b>非流動負債</b>	<b>554</b>	<b>5.3</b>	247	307	
借入金	4	0.0	5	△ 1	
その他の金融負債	21	0.2	24	△ 2	
退職給付に係る負債	8	0.1	10	△ 2	
引当金	85	0.8	78	6	
その他の非流動負債	55	0.5	55	△ 0	
繰延税金負債	378	3.6	71	307	ニューロゲーム取得による製品に係る無形資 産計上に伴う増加など
<b>流動負債</b>	<b>973</b>	<b>9.3</b>	884	89	
借入金	1	0.0	1	△ 0	
営業債務(注2)	356	3.4	357	△ 1	
その他の金融負債	207	2.0	241	△ 33	
未払法人所得税	180	1.7	48	132	
引当金	19	0.2	0	18	
その他の流動負債	208	2.0	203	4	
売却目的で保有する資産に 直接関連する負債	-	-	31	△ 31	
<b>資本</b>	<b>8,948</b>	<b>85.4</b>	8,714	233	
<b>資本金</b>	<b>500</b>	<b>4.8</b>	500	-	
資本金	500	4.8	500	-	
資本剰余金	4,512	43.1	4,511	0	
自己株式	△ 10	△ 0.1	△ 4	△ 5	
利益剰余金	3,821	36.5	3,534	286	当期利益579億円、配当金支払△370億円
その他の資本の構成要素	5	0.0	63	△ 58	
<b>非支配持分</b>	<b>120</b>	<b>1.1</b>	109	10	

(注1) 営業債権には受取手形と売掛金及び貸倒引当金を含みます。

(注2) 営業債務には支払手形(除く営業外支払手形)と買掛金を含みます。

## ② キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2017年度	2016年度	増減額
現金及び現金同等物期首残高	1,132	889	242
営業キャッシュ・フロー	669	597	71
税引前利益	787	960	△ 172
減価償却費及び償却費	115	104	10
減損損失	37	1	36
受取利息及び受取配当金	△ 12	△ 18	6
持分法による投資利益(△は益)	△ 0	△ 0	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△ 22	△ 0	△ 22
関係会社株式売却損益(△は益)	△ 35	-	△ 35
構造改革費用	21	4	16
営業債権の増減額(△は増加)	△ 61	△ 20	△ 40
棚卸資産の増減額(△は増加)	△ 26	△ 78	51
営業債務の増減額(△は減少)	0	49	△ 49
引当金の増減額(△は減少)	25	△ 12	37
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	11	△ 8	20
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△ 9	△ 1	△ 7
繰延収益の増減額(△は減少)	△ 4	△ 72	67
利息・配当金の受取額	12	19	△ 6
利息の支払額	△ 1	△ 1	0
法人所得税の支払額	△ 138	△ 324	185
その他	△ 29	△ 3	△ 26
投資キャッシュ・フロー	△ 191	△ 105	△ 86
定期預金の預入による支出	△ 37	△ 6	△ 30
定期預金の払戻による収入	84	1,184	△ 1,100
有形固定資産の取得による支出	△ 64	△ 142	78
有形固定資産の売却による収入	37	23	13
無形資産の取得による支出	△ 220	△ 66	△ 153
投資の取得による支出	△ 3,917	△ 3,099	△ 818
投資の売却及び償還による収入	4,287	1,974	2,312
預け金の回収による収入	700	-	700
子会社の売却による収入	108	-	108
子会社の取得による支出	△ 1,197	-	△ 1,197
事業譲渡による収入	30	30	△ 0
その他	△ 1	△ 3	1
財務キャッシュ・フロー	△ 325	△ 244	△ 80
自己株式の取得による支出	△ 5	△ 0	△ 5
非支配株主からの払込による収入	54	28	25
配当金の支払額	△ 370	△ 269	△ 100
その他	△ 3	△ 2	△ 0
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△ 14	△ 5	△ 9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	138	243	△ 104
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	0	△ 0	0
現金及び現金同等物期末残高	1,270	1,132	138

③ 設備投資／情報システム開発投資

(単位:億円)

	2017年度	2016年度	増減額
設備投資額／発生ベース	44	126	△ 81
システム投資額／発生ベース	16	18	△ 1

2017年度の主な設備投資		2017年度の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	18億円	田辺三菱製薬	13億円
メディカゴ	12億円		
(生産設備拡張)	(6億円)		

④ 減価償却費および償却費

(単位:億円)

	2017年度	2016年度	増減額
有形固定資産	75	73	2
無形資産(製品に係るものを除く)	14	15	△ 0
製品に係る無形資産	24	15	9

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

	会社名	田辺三菱製薬工場	ミツビシタナベファーマホールディングスアメリカ	メディカゴ	天津田辺製薬	ミツビシタナベファーマコリア
売上収益	2017年度	295	184	5	53	59
	2016年度	295	84	3	50	48
営業利益	2017年度	30	△ 20	△ 107	2	5
	2016年度	18	6	△ 63	2	4
当期利益	2017年度	22	△ 17	△ 108	1	4
	2016年度	14	4	△ 64	0	3
研究開発費	2017年度	8	39	111	1	-
	2016年度	7	34	67	2	-
有形固定資産減価償却費	2017年度	24	1	4	2	0
	2016年度	20	1	4	1	0
資産合計	2017年度末	473	417	353	55	45
	2016年度末	473	191	327	52	40
資本合計	2017年度末	390	191	245	32	34
	2016年度末	378	169	224	31	31
従業員数(人)	2017年度末	680	174	350	521	137
	2016年度末	726	143	321	543	127

\* 上記財務数値は、内部取引消去前のものです。

### 3 2018年度 業績予想について

(億円未満切り捨て)

#### ① 損益予想

(単位:億円)

	2018年度 上期予想	2018年度 通期予想	前期比較			主なポイント(前期比較)
			2017年度 実績	増減額	増減率%	
売上収益	2,100	4,350	4,338	11	0.3	P9「②主要製品売上収益予想」参照
国内	1,457	3,047	3,208	△ 161	△ 5.0	
海外	642	1,302	1,129	172	15.3	
海外売上比率	30.6%	29.9%	26.0%			
売上原価	840	1,760	1,697	62	3.7	薬価改定の影響、製品構成の変化等により 売上原価率が上昇
売上原価率	40.0%	40.5%	39.1%			
売上総利益	1,260	2,590	2,641	△ 51	△ 1.9	
販管費	500	1,010	1,040	△ 30	△ 2.9	
販管費比率	23.8%	23.2%	24.0%			
研究開発費	445	845	790	54	6.8	後期開発推進による増加
研究開発費比率	21.2%	19.4%	18.2%			
製品に係る 無形資産償却費	15	30	24	5	22.4	
その他損益(注)	-	△ 5	0	△ 5	-	
コア営業利益	300	700	785	△ 85	△ 10.9	
非経常項目(注)	△ 15	△ 30	△ 12	△ 17	-	
営業利益	285	670	772	△ 102	△ 13.3	
税引前利益	290	675	787	△ 112	△ 14.3	
当期利益	185	445	539	△ 94	△ 17.6	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	195	470	579	△ 109	△ 18.9	
総人件費	370	754	727	26	3.6	

(注) 費用・損失の場合に△表示しております。

#### 為替レート

	2018年度 想定レート	2017年度 平均レート
米ドル	105.00	110.70
ユーロ	130.00	130.25

② 主要製品売上収益予想

(単位:億円)

	2018年度 上期予想	2018年度 通期予想	前期比較		
			2017年度 実績	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	1,412	2,962	3,093	△ 131	△ 4.2
レミケード	284	555	646	△ 91	△ 14.1
シンボニー	172	350	321	29	9.2
テネリア	84	170	175	△ 4	△ 2.8
レクサプロ	64	131	127	3	3.1
セレジスト	48	93	108	△ 14	△ 13.7
クレメジン	35	84	65	19	29.2
カナグル	36	76	56	20	36.5
タリオン	35	73	169	△ 95	△ 56.6
ルパフィン	12	68	4	64	-
メインテート	27	53	103	△ 50	△ 48.6
ワクチン	143	365	350	14	4.2
インフルエンザ	13	112	99	12	12.8
テトラビック	45	91	87	3	4.2
水痘ワクチン	28	55	52	2	4.2
ミールビック	29	55	50	5	11.1
海外医療用医薬品	292	611	385	225	58.5
ラジカヴァ	141	315	123	192	156.1
ヘルベッサ	34	72	65	7	11.1
アルガトロバン	11	22	20	1	8.0
シンボニー	10	21	18	2	13.1
アンブラーグ	7	15	9	5	58.5
ロイヤリティ収入等	354	698	791	△ 92	△ 11.7
ジレニア ロイヤリティ	非開示	非開示	577	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	非開示	非開示	139	-	-
一般用医薬品	23	43	37	6	16.6
その他(注)	16	33	30	3	10.6
売上収益合計	2,100	4,350	4,338	11	0.3

(注) 他社製品の製造受託品等

③ 設備投資／情報システム開発投資予想

(単位:億円)

	2018年度 上期予想	2018年度 通期予想	2017年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額／発生ベース	67	104	44	59	131.7
システム投資額／発生ベース	18	31	16	14	82.8

2018年度の主な設備投資予定		2018年度の主なシステム投資予定	
生産関係設備	60億円	研究開発関係システム	16億円
研究開発関係設備	31億円	その他	15億円
その他	13億円		

④ 減価償却費および償却費予想

(単位:億円)

	2018年度 上期予想	2018年度 通期予想	2017年度 通期実績	増減額	増減率%
有形固定資産	39	79	75	3	4.2
無形資産(製品に係るものを除く)	8	16	14	1	6.7
製品に係る無形資産	15	30	24	5	22.4

## 4 5カ年連結財務数値

### 日本基準 (億円未満四捨五入)

#### ① 損益計算書

(単位:億円)

	2013年度	2014年度	2015年度
売上高	4,127	4,151	4,317
売上原価	1,694	1,696	1,558
売上総利益	2,433	2,455	2,759
販管費	1,842	1,784	1,810
研究開発費	704	696	753
営業利益	591	671	949
経常利益	619	677	948
特別利益	153	137	141
特別損失	48	186	246
親会社株主に帰属する当期純利益	454	395	564

#### ② 貸借対照表

(単位:億円)

	2013年度末	2014年度末	2015年度末
総資産	8,865	9,293	9,302
流動資産	5,405	6,036	6,573
固定資産	3,460	3,257	2,730
負債	1,086	1,289	1,135
流動負債	818	1,054	913
固定負債	268	235	222
純資産	7,778	8,004	8,167

#### ③ その他財務数値

(単位:億円)

	2013年度	2014年度	2015年度
営業キャッシュ・フロー	699	682	652
投資キャッシュ・フロー	△ 243	△ 598	△ 266
財務キャッシュ・フロー	△ 211	△ 219	△ 222
設備投資	126	157	112
情報システム開発投資	21	16	9
減価償却費	92	90	88
自己資本比率(%)	86.4	84.9	86.6
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	6.0	5.1	7.1
1株当たり当期純利益(円)	80.92	70.41	100.60
1株当たり純資産(円)	1,365.52	1,406.41	1,436.63

## IFRS (億円未満切り捨て)

### ① 損益計算書

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度予想
売上収益	4,257	4,239	4,338	4,350
売上原価	1,558	1,643	1,697	1,760
売上総利益	2,699	2,595	2,641	2,590
販管費	963	983	1,040	1,010
研究開発費	646	647	790	845
コア営業利益	1,069	945	785	700
営業利益	818	940	772	670
税引前利益	832	960	787	675
当期利益	570	689	539	445
親会社の所有者に帰属する当期利益	593	712	579	470

### ② 財政状態計算書

(単位:億円)

	2015年度末	2016年度末	2017年度末
資産	9,584	9,845	10,476
非流動資産	3,082	3,007	4,620
流動資産	6,501	6,837	5,855
負債	1,321	1,131	1,527
非流動負債	332	247	554
流動負債	989	884	973
資本	8,263	8,714	8,948

### ③ その他財務数値

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度予想
営業キャッシュ・フロー	808	597	669	-
投資キャッシュ・フロー	△ 422	△ 105	△ 191	-
財務キャッシュ・フロー	△ 222	△ 244	△ 325	-
設備投資	112	126	44	104
情報システム開発投資	9	18	16	31
減価償却費および償却費	103	104	115	125
親会社所有者帰属持分比率(%)	85.1	87.4	84.3	-
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)(%)	7.4	8.5	6.6	-
基本的1株当たり当期利益(円)	105.72	127.03	103.35	83.81
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	1,453.71	1,533.91	1,574.26	-

### ④ 従業員数

(単位:人)

	2013年度末	2014年度末	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末 予想
連結	9,065	8,457	8,125	7,280	7,187	7,400
単体	4,867	4,844	4,780	4,239	4,222	4,230

## 5 四半期業績の推移

(億円未満切り捨て)

### ① 損益計算書

(単位:億円)

	2016年度					2017年度					2018年度
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	通期予想
売上収益	1,054 24.9%	986 23.3%	1,202 28.4%	996 23.5%	4,239 100.0%	1,077 24.8%	1,056 24.4%	1,259 29.0%	945 21.8%	4,338 100.0%	4,350
国内	804 25.1%	749 23.4%	932 29.1%	716 22.4%	3,203 100.0%	820 25.6%	786 24.5%	946 29.5%	655 20.4%	3,208 100.0%	3,047
海外	250 24.2%	236 22.8%	269 26.0%	279 27.0%	1,036 100.0%	256 22.7%	269 23.9%	313 27.7%	290 25.7%	1,129 100.0%	1,302
売上原価	400	383	486	374	1,643	425	419	497	355	1,697	1,760
売上原価率	38.0%	38.9%	40.4%	37.6%	38.8%	39.5%	39.7%	39.5%	37.6%	39.1%	40.5%
売上総利益	654 25.2%	603 23.2%	716 27.6%	621 24.0%	2,595 100.0%	651 24.7%	637 24.1%	762 28.9%	590 22.3%	2,641 100.0%	2,590
販管費	215 22.0%	250 25.5%	243 24.8%	272 27.7%	983 100.0%	244 23.5%	270 26.0%	261 25.2%	264 25.4%	1,040 100.0%	1,010
研究開発費	145 22.4%	158 24.4%	147 22.8%	197 30.4%	647 100.0%	180 22.9%	182 23.1%	197 25.0%	229 29.0%	790 100.0%	845
製品に係る無形 資産償却費	3 24.1%	3 24.1%	3 24.2%	4 27.6%	15 100.0%	5 21.5%	5 21.5%	6 27.1%	7 29.9%	24 100.0%	30
その他損益(注)	0 -	△ 0 -	△ 1 -	△ 2 -	△ 4 -	△ 1 -	△ 1 -	3 -	△ 0 -	0 -	△ 5
コア営業利益	290 30.7%	189 20.0%	319 33.9%	145 15.4%	945 100.0%	219 28.0%	177 22.6%	299 38.2%	88 11.3%	785 100.0%	700
営業利益	292 31.0%	186 19.8%	319 34.0%	143 15.2%	940 100.0%	210 27.2%	158 20.5%	316 40.9%	88 11.4%	772 100.0%	670
税引前(四半期)利益	302 31.5%	191 19.9%	320 33.4%	145 15.2%	960 100.0%	219 27.9%	155 19.8%	326 41.5%	85 10.8%	787 100.0%	675
親会社の所有者に帰属 する当期(四半期)利益	219 30.7%	143 20.2%	238 33.5%	110 15.5%	712 100.0%	169 29.3%	128 22.2%	222 38.4%	58 10.1%	579 100.0%	470

\* 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

(注) 費用・損失の場合に△表示しております。

## ② 主要製品売上収益

(単位:億円)

	2016年度					2017年度					2018年度
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	通期予想
国内医療用医薬品	784 25.0%	735 23.4%	913 29.1%	708 22.5%	3,142 100.0%	799 25.9%	773 25.0%	923 29.8%	597 19.3%	3,093 100.0%	2,962
レミケード	173 26.0%	164 24.7%	182 27.3%	147 22.1%	668 100.0%	168 26.0%	161 24.9%	182 28.2%	135 20.9%	646 100.0%	555
シンボニー	63 25.3%	58 23.6%	69 27.9%	57 23.2%	249 100.0%	75 23.5%	77 24.2%	92 28.6%	76 23.7%	321 100.0%	350
テネリア	38 23.4%	41 25.3%	51 31.0%	33 20.3%	165 100.0%	46 26.7%	46 26.8%	58 33.4%	22 13.1%	175 100.0%	170
タリオン	41 21.7%	33 17.7%	52 27.8%	62 32.9%	189 100.0%	40 23.7%	39 23.2%	47 28.3%	41 24.8%	169 100.0%	73
レクサプロ	28 25.4%	26 23.7%	31 28.3%	25 22.6%	112 100.0%	31 24.5%	31 24.3%	36 28.8%	28 22.4%	127 100.0%	131
セレジスト	35 28.9%	29 23.8%	33 27.3%	24 20.0%	123 100.0%	30 28.3%	26 23.9%	31 28.8%	20 19.0%	108 100.0%	93
メインテート	33 28.3%	27 23.4%	32 27.3%	24 21.1%	118 100.0%	29 28.8%	26 25.1%	30 29.6%	17 16.4%	103 100.0%	53
クレメジン	21 28.1%	18 24.5%	20 27.1%	15 20.3%	75 100.0%	17 26.9%	15 24.3%	17 26.8%	14 22.0%	65 100.0%	84
ラジカット	15 27.2%	14 24.1%	16 28.5%	11 20.3%	58 100.0%	14 24.7%	14 25.5%	16 28.7%	12 21.2%	58 100.0%	非開示
カナグル	7 20.6%	7 22.8%	10 30.9%	9 25.8%	34 100.0%	14 25.9%	12 21.7%	17 30.8%	12 21.6%	56 100.0%	76
デパス	17 28.3%	15 25.0%	15 25.9%	12 20.9%	61 100.0%	14 26.7%	13 24.5%	15 28.0%	11 20.9%	53 100.0%	非開示
ウルソ	17 28.6%	14 24.2%	16 26.6%	12 20.5%	61 100.0%	14 27.7%	12 24.5%	14 28.3%	10 19.5%	52 100.0%	非開示
イムセラ	13 26.6%	11 23.4%	13 28.5%	10 21.6%	49 100.0%	12 27.3%	11 24.7%	13 28.0%	9 20.1%	47 100.0%	非開示
ワクチン	73 18.8%	91 23.5%	146 37.5%	78 20.1%	389 100.0%	68 19.5%	76 21.7%	154 44.0%	51 14.7%	350 100.0%	365
インフルエンザ	△ 1 △ 0.9%	26 20.6%	85 66.6%	17 13.7%	127 100.0%	△ 0 △ 0.3%	11 11.4%	90 91.4%	△ 2 △ 2.5%	99 100.0%	112
テトラビック	27 27.7%	23 23.4%	25 25.6%	23 23.3%	99 100.0%	23 26.7%	20 23.9%	22 25.6%	20 23.7%	87 100.0%	91
水痘ワクチン	14 26.5%	13 25.3%	13 24.6%	12 23.7%	54 100.0%	14 27.4%	12 23.8%	13 25.6%	12 23.1%	52 100.0%	55
ジェービックV	12 32.2%	10 25.6%	8 20.7%	8 21.6%	39 100.0%	13 25.0%	15 30.0%	13 26.2%	9 18.9%	52 100.0%	非開示
ミールビック	17 29.1%	15 26.2%	12 20.6%	14 24.1%	59 100.0%	15 31.3%	13 26.3%	12 24.3%	9 18.0%	50 100.0%	55
田辺製薬販売 取扱品(注1)	35 24.8%	33 23.5%	40 28.3%	33 23.4%	141 100.0%	34 51.4%	32 48.6%	-	-	66 100.0%	-
海外医療用医薬品	55 24.6%	50 22.5%	55 24.3%	65 28.7%	226 100.0%	59 15.4%	80 20.9%	117 30.5%	128 33.3%	385 100.0%	611
ラジガヴァ	-	-	-	-	-	-	11 9.5%	52 42.9%	58 47.6%	123 100.0%	315
ヘルベッサ	15 25.0%	13 22.4%	15 25.7%	16 26.9%	60 100.0%	15 23.1%	16 25.4%	15 24.2%	17 27.3%	65 100.0%	72
アルガトロバン	5 26.8%	4 24.5%	4 25.3%	4 23.4%	19 100.0%	4 23.0%	5 25.3%	6 31.0%	4 20.8%	20 100.0%	22
シンボニー	3 21.5%	3 23.1%	3 25.7%	4 29.6%	14 100.0%	4 24.4%	4 25.4%	4 25.5%	4 24.7%	18 100.0%	21
タナトリル	5 34.7%	3 21.2%	3 20.5%	3 23.6%	16 100.0%	3 20.7%	4 25.4%	4 25.9%	4 28.0%	17 100.0%	非開示
ロイヤリティ収入等	198 24.1%	187 22.7%	220 26.9%	216 26.3%	822 100.0%	204 25.9%	191 24.2%	199 25.2%	196 24.8%	791 100.0%	698
ジレニア	138 25.8%	136 25.5%	144 26.9%	117 21.9%	537 100.0%	145 25.3%	149 25.8%	152 26.5%	129 22.4%	577 100.0%	非開示
インヴォカナ	49 26.4%	40 21.5%	63 33.4%	35 18.6%	188 100.0%	36 25.7%	36 26.3%	38 27.6%	28 20.4%	139 100.0%	非開示
一般用医薬品	10 29.7%	9 27.2%	9 27.7%	5 15.3%	34 100.0%	11 31.1%	10 27.0%	9 26.4%	5 15.5%	37 100.0%	43
その他(注2)	6 48.6%	3 21.8%	2 21.1%	1 8.6%	14 100.0%	1 5.3%	0 3.1%	9 32.7%	17 58.9%	30 100.0%	33
売上収益合計	1,054 24.9%	986 23.3%	1,202 28.4%	996 23.5%	4,239 100.0%	1,077 24.8%	1,056 24.4%	1,259 29.0%	945 21.8%	4,338 100.0%	4,350

\* 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。なお、当社は2017年10月1日付で田辺製薬販売の全株式をニプロに譲渡いたしました。

(注2) 他社製品の製造受託品等

## 6 新製品開発状況について(2018年4月30日現在)

### ① 自己免疫疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
FTY720 イムセラ/ジレニア (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (小児・多発性硬化症)	欧州 申請(2017年11月)	ノバルティス(スイス) に導出
		米国 申請(2017年11月)	
MT-5547	完全ヒト型抗ヒトNGFモノクローナル抗体製剤 (変形性関節症)	日本 フェーズ 2/3	リジェネロン(米)から導入
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(乾癬)	欧州 フェーズ 2	
	(クローン病)	日本、欧州 フェーズ 2	
MT-7117	皮膚科用剤 等 (炎症・自己免疫疾患 等)	フェーズ 1	自社創製品
MT-2990	炎症・自己免疫疾患 等	フェーズ 1	自社創製品

### ② 糖尿病・腎疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア 申請(2017年8月)	自社創製品
	(心血管疾患の既往がある、または心血管疾患リスクがある2型糖尿病における死亡リスク低減(CANVAS/CANVAS-R))	米国 申請(2017年9月)	
	(糖尿病性腎症)	欧州 申請(2017年10月)	
MP-513 (テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	日本、米国、欧州他 フェーズ 3 国際共同治験	自社創製品 治験依頼者: ヤンセン リサーチ アンド デベロップメント(米)
		インドネシア 申請(2015年4月)	自社創製品
		中国 フェーズ 3	
MT-6548	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤 (腎性貧血)	欧州 フェーズ 2	アケビア(米)から導入
		日本 フェーズ 3	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	日本、欧州 フェーズ 2	自社創製品
		中国 フェーズ 2	
		日本 フェーズ 2	
	(非アルコール性脂肪性肝炎)	日本 フェーズ 2	

③ 中枢神経系疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症)	スイス 申請(2017年12月) カナダ 申請(2018年4月)	自社創製品
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	韓国 申請(2017年12月) 台湾 申請(2017年12月)	ゲデオンリター(ハンガリー)から 導入
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	米国、欧州 フェーズ 3	ミネルバ・ニューロサイエンス(米)へ 導出
MT-5199	小胞モノアミントランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本 フェーズ 2/3	ニューロクラインバイオサイエンス (米)から導入
Wf-516	モノアミンレセプターに対する多重作用* (大うつ病)	米国、欧州 フェーズ 2	ミネルバ・ニューロサイエンス(米)へ 導出
MT-8554	神経系用剤 等 (糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛) (更年期に伴う血管運動神経症状)	欧州 フェーズ 2 米国 フェーズ 2	自社創製品
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ/パッチ製剤 (パーキンソン病)	米国、欧州 フェーズ 2	自社創製品
ND0801 (ニコチン/オピプラモール)	経皮剤 (中枢神経系疾患に伴う認知障害)	イスラエル フェーズ 2	自社創製品
MP-124	神経系用剤	フェーズ 1	自社創製品
ND0701 (アボモルフィン)	持続皮下注投与ポンプ (パーキンソン病)	フェーズ 1	自社創製品
MT-1186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症/新投与経路)	フェーズ 1	自社創製品

\*選択的セロトニン取り込み阻害/セロトニン1A受容体拮抗/ドパミン取り込み阻害/ $\alpha$ 1Aと $\alpha$ 1Bアドレナリン受容体の調節

④ ワクチン

治験コード	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-2355	5種混合ワクチン (小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防)	日本 フェーズ 3	阪大微生物病研究会(日)と共同開 発
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国、欧州、カナダ他 フェーズ 3	自社創製品
MT-8972	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ フェーズ 2	自社創製品
MT-7529	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	フェーズ 1	自社創製品

⑤ その他疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
バリキサ (バルガンシクロビル 塩酸塩)	抗サイトメガロウイルス化学療法剤 (小児・臓器移植におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制)	日本 申請(2018年2月)	エフ・ホフマン・ラ・ロシュ (スイス)より導入
MT-4580 オルケディア (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症)	日本 フェーズ 3	協和発酵キリン(日) に導出
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国 フェーズ 2	サマファーマ(韓) に導出
Y-803	BRD阻害剤 (がん)	欧州、カナダ フェーズ 2	メルク(米)に導出
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	血液および体液用剤	フェーズ 1	自社創製品
MT-0814	眼科用剤	フェーズ 1	自社創製品
MT-4129	循環器官用剤 等	フェーズ 1	自社創製品
MT-2765	循環器官用剤 等	フェーズ 1	上海医薬集団(中) と共同研究

2017年度第3四半期決算発表(2018年2月5日)からの変更点

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	前回発表	2018年4月30日 現在	起源/導出先等
MT-4580 オルケティア (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症)	日本 申請(2017年4月)	日本 承認(2018年3月)	協和発酵キリン(日)に 導出
バリキサ (バルガンシクロビル塩 酸塩)	抗サイトメガロウイルス化学療法剤 (小児・臓器移植におけるサイトメガロ ウイルス感染症の発症抑制)	記載なし	日本 申請(2018年2月)	エフ・ホフマン・ラ・ロ シュ(スイス)より導入
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症)	記載なし	カナダ 申請(2018年4月)	自社創製品
MT-1186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症/新投与経路)	記載なし	フェーズ 1	自社創製品
sTU-199 (テナトプラゾール)	消化器官用剤	欧州 フェーズ 1	削除 (開発中止)	ネグマ/シテム(仏)に 導出

## 7 その他

### 1. 関係会社

#### ① 関係会社数

	2017年度末	2016年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	33	27	6	増加)田辺パルムサービス、ステリック再生医科学研究所、ミツビシ タナベ ファーマ カナダ、ニューロダームほか 減少)田辺製薬販売
関連会社および ジョイントベンチャー数	2	1	1	増加)BIKEN
合計	35	28	7	

#### ② 連結子会社一覧

(2018年3月31日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	吉富薬品	385百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品の学術情報伝達
2	田辺三菱製薬工場	1,130百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
3	田辺製薬吉城工場	400百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
4	田辺総合サービス	90百万円	100.0 (-)	3月末	オフィスサービス等
5	田辺パルムサービス	10百万円	100.0 (100.0)	3月末	印刷業務、社内郵便業務、オフィスサポート業務
6	ステリック再生医科学研究所	1,136百万円	100.0 (100.0)	9月末	医薬品の研究開発
7	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	USD 167	100.0 (-)	3月末	北米グループ会社の経営管理
8	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	USD 200	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
9	ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
10	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	バイオベンチャーへの投資事業
11	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U.S.A.	USD 3 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
12	ミツビシ タナベ ファーマ カナダ	CAD 4 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
13	MTPC ホールディングス カナダ	CAD 432.4 Mill.	100.0 (-)	3月末	メディカゴグループへの投資
14	メディカゴ	CAD 569.0 Mill.	60.0 (57.6)	3月末	ワクチンの研究開発・製造
15	メディカゴ U.S.A.	USD 99	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの製造
16	メディカゴ R&D	CAD 500	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの研究開発
17	田辺三菱製薬開発(北京)	USD 1 Mill.	100.0 (-)	12月末	医薬品の研究開発
18	天津田辺製薬	USD 16.2 Mill.	75.4 (-)	12月末	医薬品の製造・販売
19	台湾田辺製薬	TWD 90 Mill.	65.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
20	台田薬品	TWD 20 Mill.	65.0 (-)	3月末	医薬品の販売
21	タナベ インドネシア	USD 2.5 Mill.	99.6 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
22	ミツビシ タナベ ファーマ シンガポール	SGD 300,000	100.0 (-)	3月末	医薬品の開発
23	MT ファーマ タイランド	THB103 Mill.	100.0 (98.0)	3月末	医薬品の販売
24	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100 Mill.	100.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
25	ニューロダーム	USD 58,000	100.0 (-)	3月末	医薬品の研究開発
26	ミツビシ タナベ ファーマ ヨーロッパ	GBP 4.6 Mill.	100.0 (-)	3月末	医薬品の研究開発
27	ミツビシ タナベ ファーマ ゲーエムベーハー	EUR 25,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売

\* 上記以外に連結子会社5社(内、清算手続中の会社が2社、休眠会社が1社)あります。また、業績連動型株式報酬にかかる信託を連結子会社に含めております。

#### ③ 関連会社およびジョイントベンチャー一覧

(2018年3月31日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1.6 Mill.	50.0 (-)	12月末	医薬品の製造・販売
2	BIKEN	100百万円	33.4 (-)	3月末	ワクチンを含む生物学的製剤の製造・販売

## 2. 株式の状況

### ① 発行済株式数

	2018年3月末	2017年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数(注)	642,309	429,753
期末発行済株式数	560,775,607	560,988,163
期中平均自己株式数	560,272	429,206
期中平均株式数	560,857,644	560,988,710

(注) 2018年3月末の期末自己株式数には、業績連動型株式報酬にかかる信託が所有する当社株式が211,100株含まれております。

### ② 大株主の状況

順位	株主名	2018年3月末		2017年3月末		
		持株数 千株	持株比率(%)	順位	持株数 千株	持株比率(%)
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34	1	316,320	56.34
2	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	27,144	4.83	2	25,657	4.57
3	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	12,733	2.27	4	11,439	2.04
4	日本生命保険	12,065	2.15	3	12,065	2.15
5	MSCO CUSTOMER SECURITIES	9,663	1.72	63	694	0.12
6	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	7,118	1.27	6	6,087	1.08
7	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口9)	4,822	0.86	7	5,477	0.98
8	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口5)	4,662	0.83	8	4,483	0.80
9	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口7)	3,833	0.68	15	3,271	0.58
10	ニプロ	3,821	0.68	10	3,821	0.68

### ③ 所有者別株式分布状況(単元株)

	2018年3月末			2017年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比(%)	株主数 名	株式数 千株	構成比(%)
金融機関	79	92,006	16.39	73	98,612	17.57
外国法人等	608	108,658	19.36	592	105,370	18.77
個人・その他(注)	18,126	25,240	4.50	13,741	22,667	4.04
その他の法人	268	330,078	58.81	225	329,824	58.76
金融商品取引業者	40	5,325	0.95	30	4,836	0.86
合計	19,121	561,310	100.00	14,661	561,311	100.00
(単元未満株式の状況)	-	107	-	-	106	-

\* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2018年3月末431千株、2017年3月末429千株)を含んでおります。

### ④ 配当金/株価推移

(日本基準)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
1株当たり年間配当金(円)	40	40	42	46
配当性向(%)	53.6	49.4	59.6	45.7
(のれん償却前)	(43.2)	(40.5)	(47.6)	(38.8)
期末株価(円)	1,445	1,443	2,062	1,957
株式時価総額(億円)	8,112	8,101	11,576	10,987

  

(IFRS)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度予想
1株当たり年間配当金(円)	46	52	66*	56
配当性向(%)	43.5	40.9	63.9	66.8
期末株価(円)	1,957	2,318	2,080	-
株式時価総額(億円)	10,987	13,014	11,677	-

\*当社は、2017年10月1日に発足10周年を迎えました。これを記念し、2017年度中間配当時に記念配当(10円)を実施いたしました。

主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗TNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNF<math>\alpha</math>をターゲットとした抗TNF<math>\alpha</math>抗体で、早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎の効能・効果を有する。2015年8月に腸管型ベーチェット病、神経型ベーチェット病、血管型ベーチェット病、2015年12月に川崎病の効能を追加し、2016年5月には乾癬の用法・用量の追加(増量・投与間隔の短縮)について、2017年5月にはクローン病の用法・用量の追加(投与間隔の短縮)について承認を取得した。                      オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
シンボニー	2011年9月発売	薬効	ヒト型抗TNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNF<math>\alpha</math>をターゲットとした抗TNF<math>\alpha</math>抗体で、4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)に加え、2017年3月に潰瘍性大腸炎の効能を追加した。                      オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
テネリア	2012年9月発売	薬効	選択的DPP-4阻害剤
<p>当社が創製した初の日本オリジンのジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害剤で活性型GLP-1の血中濃度を上昇させることにより、血糖依存的なインスリン分泌促進・グルカゴン分泌抑制をもたらす血糖降下作用を発揮する2型糖尿病治療剤である。</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売し、2015年5月に小児(7-15歳)適応の承認を取得した。                      オリジン:宇部興産</p>			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
<p>セロトニントランスポータに高い選択性を持つSSRIで、世界98の国と地域で承認されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法・用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。2015年11月に社会不安障害(SAD)適応の承認を取得した。                      オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売した。</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的 $\beta$ 1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈・慢性心不全治療剤)
<p>世界100カ国以上で使用されている代表的な<math>\beta</math>1遮断剤。極めて高い<math>\beta</math>1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともに、生命予後改善の豊富なエビデンスを有する。2011年5月に慢性心不全、2013年6月に頻脈性心房細動の効能をそれぞれ追加。                      オリジン:(独)メルクセロー</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の吸着・除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。                      オリジン・製造販売元:クレハ</p>			
ラジカット	2001年6月発売	薬効	フリーラジカールスカベンジャー
<p>日本で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカールスカベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。                      筋萎縮性側索硬化症(ALS)を適応として2005年6月にオーファンドラッグに指定され、2015年6月に承認を取得した。</p>			
カナグル	2014年9月発売	薬効	SGLT2阻害剤
<p>当社が創製したナトリウム-グルコース共輸送体(sodium glucose co-transporter;SGLT)2阻害剤であり、腎臓に存在するSGLT2を阻害することで、尿糖排泄促進作用を通じた血糖低下作用を発揮する。本剤は、米国、欧州、オーストラリアなども含め世界80カ国以上で承認されており、これらの国ではヤンセンファーマが製品名「インヴォカナ」で販売している(2018年3月現在)。</p>			

デパス	1984年3月発売	薬効	精神安定剤
国内で最も汎用されている抗不安薬。強力な抗不安作用とともに、優れた鎮静・催眠作用、筋緊張緩解作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。			
ウルソ	1962年7月発売	薬効	肝・胆・消化機能改善剤
本剤の主成分ウルソデオキコール酸(UDCA)は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆(クマノイ)が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用を持ち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効果を持つ。			
イムセラ	2011年11月発売	薬効	多発性硬化症治療剤
多発性硬化症における神経炎症を抑制するファースト・イン・クラスの薬剤である。リンパ球上のスフィンゴシン1リン酸受容体に作用して、自己反応性リンパ球の中樞神経系への浸潤を阻止する。多発性硬化症の薬物治療に対し、経口投与(1日1回)が可能であり、患者さんの負担を軽減する。当社が創製し、ノバルティスファーマと共同で開発を行い当社では製品名「イムセラ」、ノバルティスファーマでは製品名「ジレニア」で販売されている。			
インフルエンザワクチン	1972年9月発売	薬効	インフルエンザの予防
季節性インフルエンザの予防に用いられる。2015年より、これまでの3価ワクチンから4価ワクチンに変更された。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会			
テトラビック	2012年10月発売	薬効	百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防
既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン(IPV)を混合した4種混合ワクチン。定期接種1期初回(3回)および1期追加(1回)の計4回接種に使用される。IPVは急性灰白髄炎(ポリオ)の予防のみならず、従来の生ポリオワクチン投与により極めて稀に発生するワクチン関連麻痺の解決が期待されている。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会			
水痘ワクチン	1987年3月発売	薬効	水痘および50歳以上の者に対する帯状疱疹の予防
水痘(みずぼうそう)の予防に用いられるワクチンで、2014年に定期接種化された。また、2016年、50歳以上の者に対する帯状疱疹の予防に関する効果・効果が承認された。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会			
ジェービックV	2009年6月発売	薬効	日本脳炎の予防
製造過程におけるウイルスを増殖させる宿主として、Vero細胞を使用した、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。本剤は製造過程でマウス脳を使用しないため、副反応(ADEM:急性散在性脳脊髄炎)軽減が期待されている。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会			
ミールビック	2005年12月発売	薬効	麻しんおよび風しんの予防
麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。1回の接種で麻しんと風しんの両方の免疫を獲得できることから、被接種者(保護者)や医療関係者の負担軽減、麻しんおよび風しんの予防接種率向上に寄与している。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会			

## ニュースリリース

2017年10月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<https://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2017年 10月2日	(開示事項の経過)子会社の異動(株式譲渡)完了に関するお知らせ
10月11日	アステラス製薬、田辺三菱製薬および第一三共によるドラッグリポジショニング化合物ライブラリーを用いた新薬探索プログラム「JOINUS」の実施に関するお知らせ -製薬企業の化合物を用いたオープンイノベーションによる日本発の創薬に向けて、国内に研究拠点をもち製薬企業3社が連携-
10月18日	ニューロダーム社の買収完了(完全子会社化)に関するお知らせ
10月26日	アレルギー性疾患治療剤「タリオン」に関する特許侵害行為差止めに関する仮処分命令申立ての取下げについて
11月1日	HIF-PH阻害薬MT-6548の腎性貧血患者を対象とした国内第3相臨床試験開始のお知らせ
11月1日	当社による株式会社ステリック再生医学研究所の買収について ~将来の米国展開製品として炎症性腸疾患領域の核酸医薬品を獲得~
11月8日	爪白癬治療剤「クレナフィン」の台湾における独占的供給契約締結について
11月22日	新しい作用機序をもつアレルギー性疾患治療剤 DUAL作用(抗PAF作用と抗ヒスタミン作用)で強力な効果を発揮「ルバフィン錠10mg」発売のお知らせ
12月13日	ALSを含む神経変性疾患治療をめざした抗体医薬に関する共同研究契約締結のお知らせ
12月20日	(開示事項の経過)Kolon Life Science社とのInvossaライセンス契約に関するお知らせ
2018年 1月10日	平成29年度 研究助成の交付決定に関するお知らせ
1月11日	~患者さんの服用感を改善し、服薬アドヒアランスの向上をめざして~ 慢性腎不全用剤「クレメジン速崩錠500mg」(剤形追加)新発売のお知らせ
1月16日	世界第2位の医薬品市場である中国における医薬品開発、販売を強化「ノバスタン」の虚血性脳梗塞急性期の効能追加を中国で承認取得
1月23日	「エダラボン点滴静注バッグ」に関する特許権侵害差止等請求の訴えの取下げ等について
1月23日	世界のALS患者さんへ 日本発のALS治療薬を届けたい ALS治療薬(エダラボン)をスイスへ承認申請
2月8日	ウェアラブルデバイスを活用したユニークな企画で従業員のウォーキングイベントへの参加が大幅に増加!
2月28日	「バリキサ錠450mg」「臓器移植におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制」小児適応追加の公知申請、及びドライシロップの剤形追加申請のお知らせ
3月1日	2型糖尿病治療剤「カナグル錠100mg」台湾における輸入販売開始に関するお知らせ
3月1日	(トピックス) 2年連続「健康経営優良法人~ホワイト500~」に認定されました
3月2日	(トピックス) ALS治療薬「ラジカヴァ」の米国における投与患者数が2,000名を超えました
3月6日	シンガポール グループ会社の社名変更に関するお知らせ
3月8日	難病患者団体支援活動「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」第6期(2018年度)助成先決定のお知らせ
3月26日	田辺三菱製薬と日立が、AI技術を活用し新薬開発における臨床試験の効率化に向けて協創を開始
3月29日	平成30年度 研究助成・海外留学助成 募集のお知らせ
4月10日	世界のALS患者さんへ 日本発のALS治療薬を届けたい ALS治療薬(エダラボン)のカナダ承認申請受理および販売子会社(カナダ)設立について
4月10日	(開示事項の経過)Kolon Life Science社とのライセンス契約に関する仲裁申立てのお知らせ



田辺三菱製薬

2017年度 決算補足説明資料